

幼児の役立つものをつくらう ～おもちゃづくり～

今回のおもちゃは“幼児”ということで、1歳から小学校入学までが対象です。

おもちゃや博物館長 多田千尋さんがこんなことを言っています。(参考までに)

(0歳～ ミルクのようなおもちゃを)・・・今回は乳児は対象外です。

● それを仲立ちにして親が子どもに話しかけるなど、関わりを作り出すおもちゃ。からがらやモバイルなど。

1～2歳 離乳食のようなおもちゃ

● 押したりひっぱったりつまんだりして、手指の感覚を育てるおもちゃ。ハンマー玩具や玉入れ遊び、プレイマット

● 色や形を目で認識し、反応を楽しむおもちゃ。ベビーブロックや指人形など。

3～4歳 幼児食のようなおもちゃ

● 複雑に組み立てたり、世界を創造したりするおもちゃ。つみ木、ブロックなど

● 人と人をつないだり、それで誰かと一緒に遊ぶおもちゃ。ままごと、動物セットなど。

子育て応援コラムより

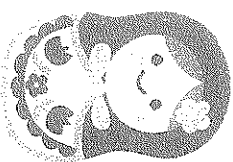
*5歳から小学校入学までの時期は、ダイナミックな遊びも楽しめるようになります。

幼児を理解するうえで、役立つ本

『赤ちゃん学を知っていますか?』 産経新聞・新「赤ちゃん学」取材班 編 新潮社

『ひとりできた1子どもは手を使いながら一人立ちする』相良敦子監修 サンマーク出版

『あそびとおもちゃ；ダイベロップメンタル Toys』志田紀子著 学陽書房



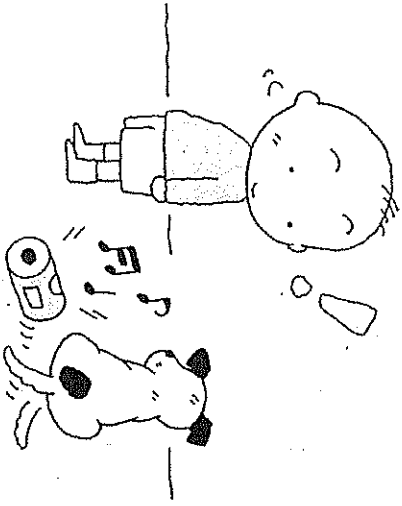
グッドトイの6つの条件！

- ・心地よい音
- ・動きのパリテーション
- ・感触のよさ
- ・適度な大きさと重さ
- ・美しい色と形
- ・丈夫さと壊れにくさ

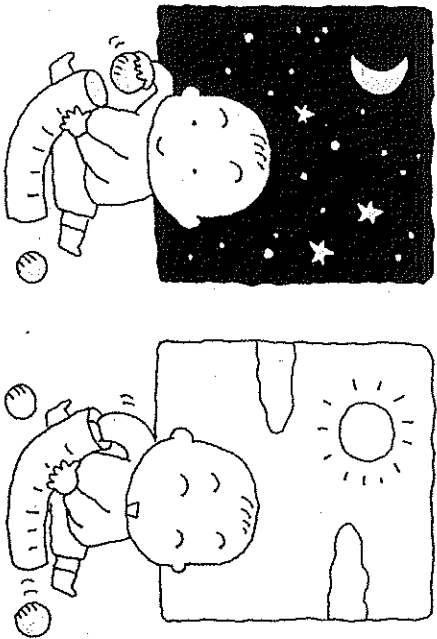
NPO法人日本グッド・トイ委員会が決めた条件

幼児のための遊具づくしのポイント

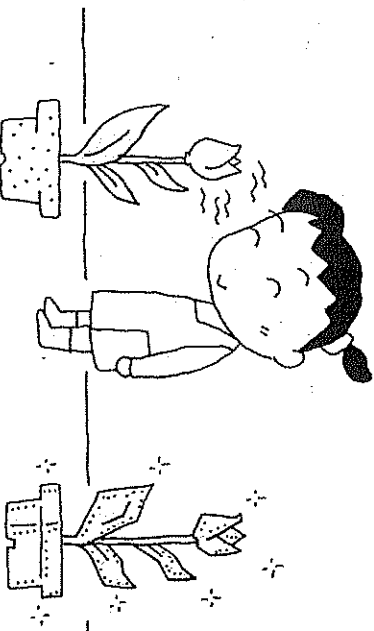
1. パツと引きつける興味点



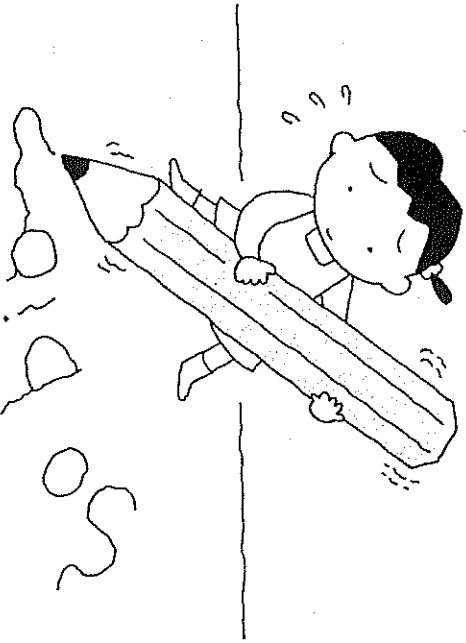
3. 繰り返し返せる／やり直せる



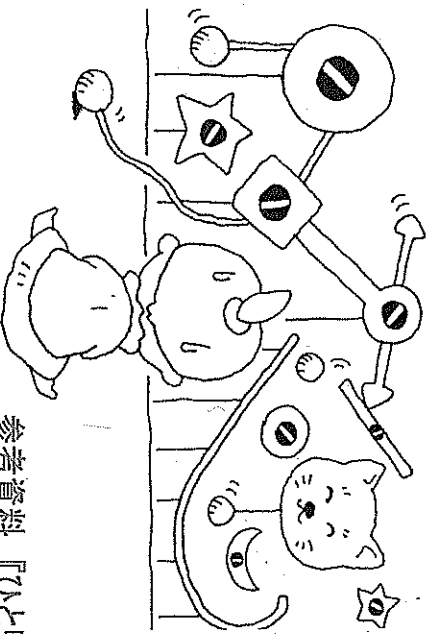
5. 色や形が美しい／手触りがいい



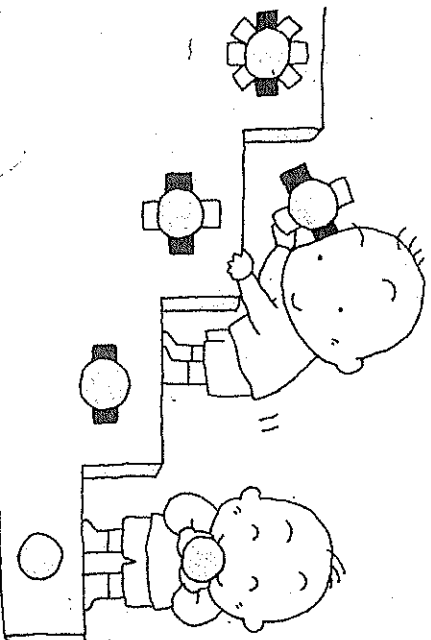
2. おべて、子どもサイン



4. 要素をひとつに絞る



6. 感性や知性を刺激



作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(箇条書きでよい。)後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。

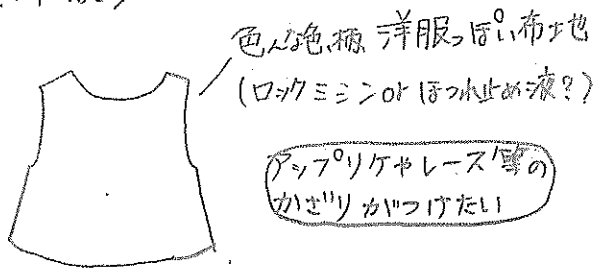
[本体]



工夫 ジャージを使うことで着せ替えをやりやすくする。シンプルな柄や形にすることで、洋服を着せやすくする。

注意 左右対称にする。感しよくをよくするために、わたの量を調整する。

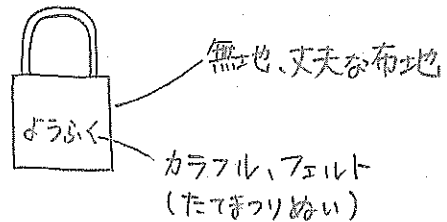
[洋服]



工夫 基本は上の形だが、ボタン、リボン、チャック等のついた少し着せにくい服をつくり、ようじの手をきたえる。明るい色にして、見ただけで楽しめる洋服にする。

注意 体にフィットするようにサイズを考える。ほつれたりやぶれたりしないように丈夫につくる。

[入れ物]

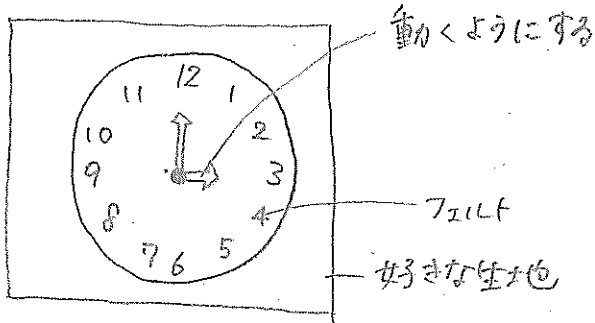


工夫 少し大きめに丈夫につくり、使いやすくする。できればチャックや持ち手をつけて、おでかけするときにも持っていけるようにする。

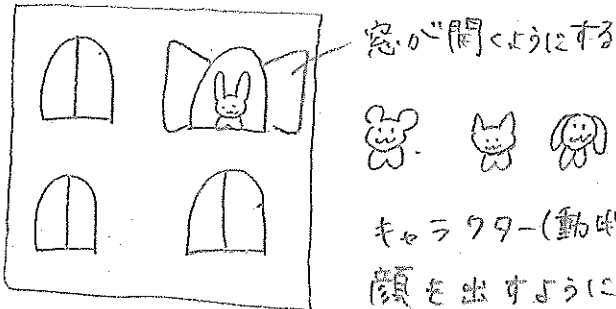
注意 全部が入るように気をつける。うらの糸のしまっもっかりして、丈夫につくる。

知育 おもちゃ 参見点 (32)

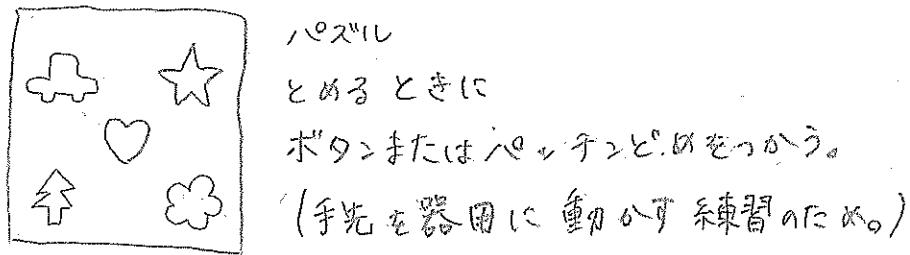
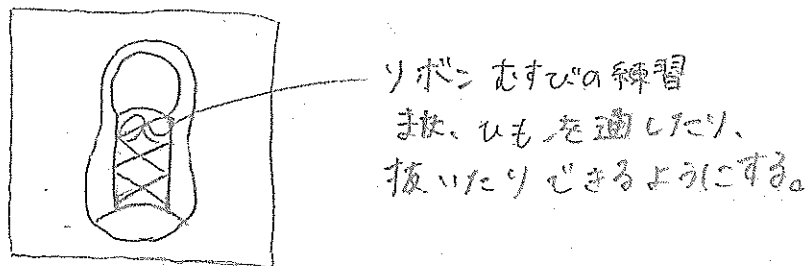
作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(簡条書きでよい。) 後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。



表地は市販の
好きな生地をつかう。
(自分で用意)



キャラクター(動物)の
顔を出すようにする。



パズル
とめるときに
ボタンまたはパッチなどめをつかう。
(手先を器用に動かす練習のため)

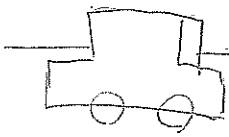
作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(箇条書きでよい。)後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。



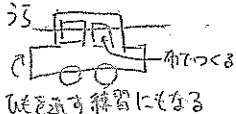
これを人形にする



← これも布で立体的に。



← 車のパーツの車はひもをつけて、左右にうごくようにする(立体的ではない)



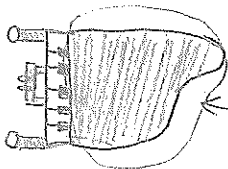
2枚の布を重ねて作って、ぐるんぱの人形が入るようにする。



← ひもか糸をえるようにする



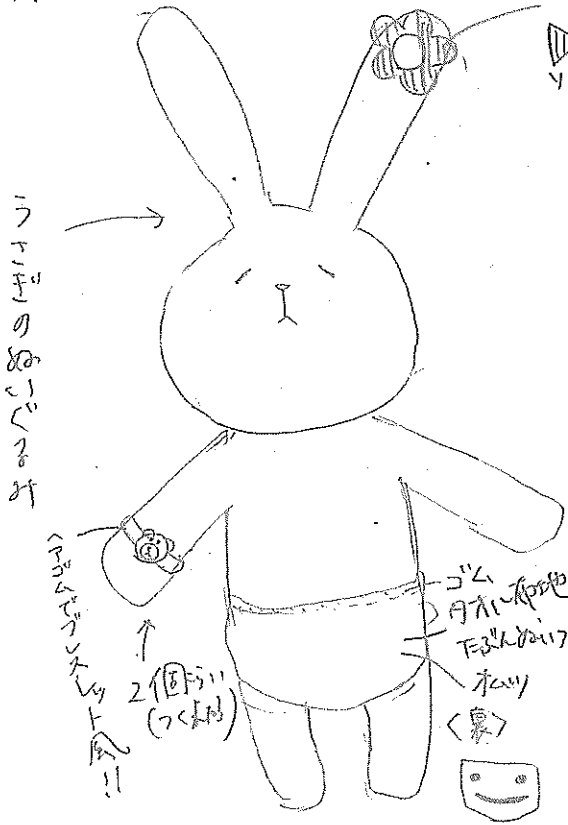
マジックテープ 布は2枚重ねて、足首のところだけぬいっけしないで、ものが入るようにする



← グランドヒールはく この部分の布を2枚重ねて、ひもで開け閉めできるようにする。

作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(簡条書きでよい。)後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。

○着せかえ人形



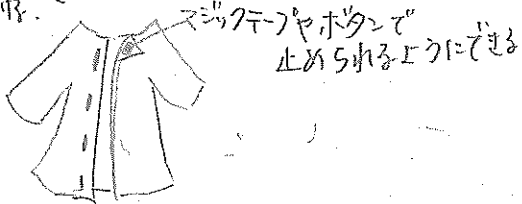
マジックテープのボタンで
リボンとかが変えられる。

○洋服

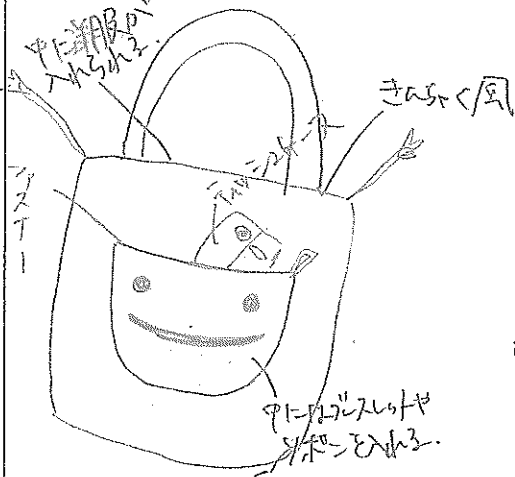
<前>



<後>



○カバン



○ズボン
<前>



○Tシャツ
<前> <後>



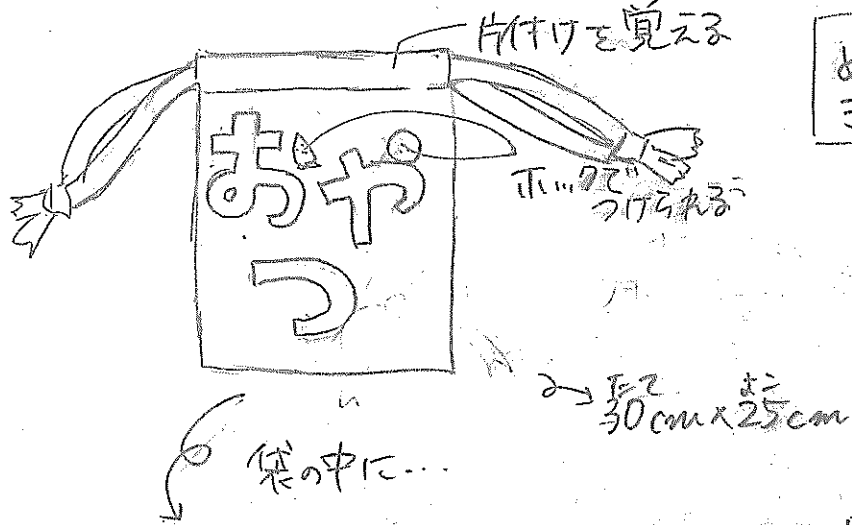
○スカート



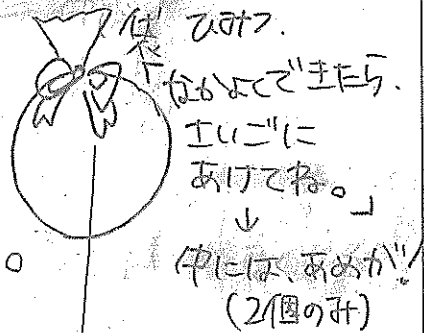
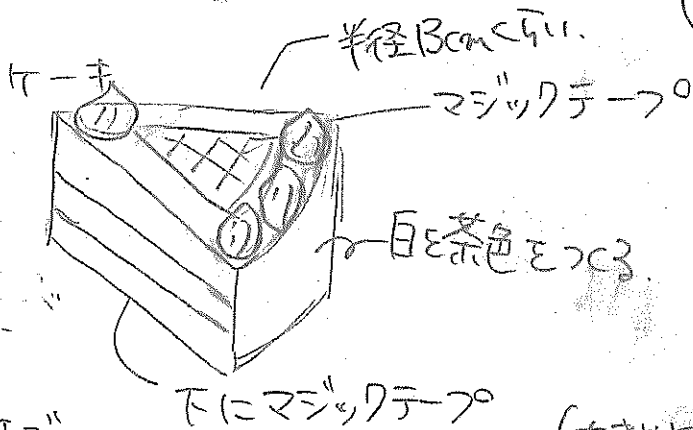
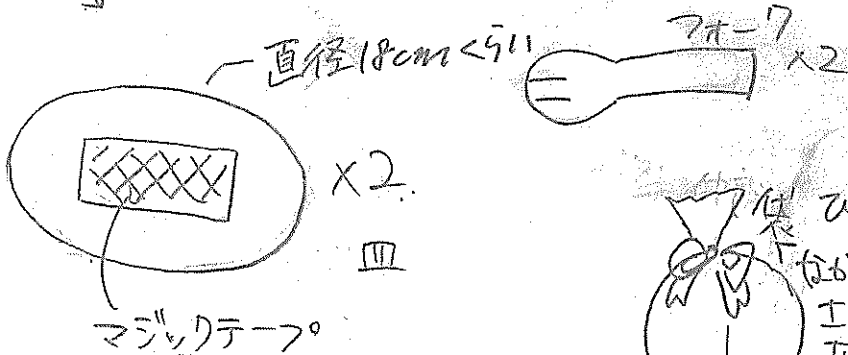
○マフラー (余布の活用)



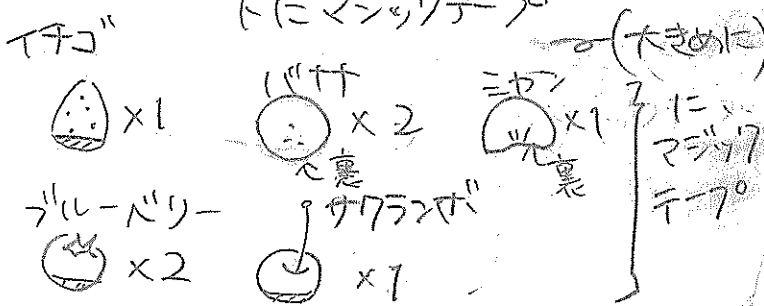
作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(簡条書きでよい。)後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。



ぬい目は全て
まろりとする!

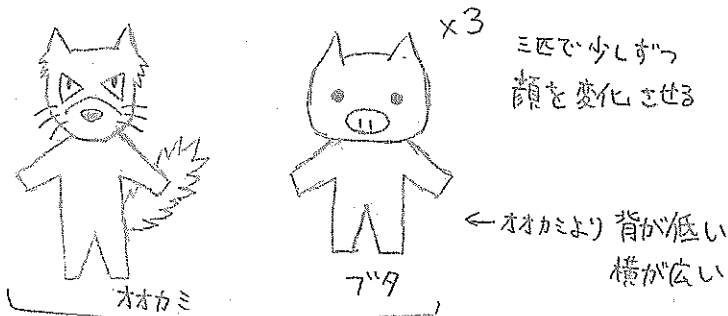


中に手紙
 手紙をおわった
 ころのりぼんを
 まいり
 してあげて
 ください。



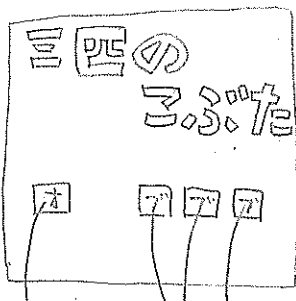
リボンで練習

作りたいものを図や絵を使って書きましょう。工夫点、注意するところ、注意する箇所、材料などのポイントを矢印をして記入しておくこと。(箇条書きでよい。)後日細かいところの変更はしてよいので、今考えていることをきちんと記入しておくこと。



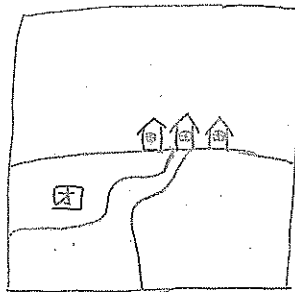
- フェルト ← 綿を少しつめる。
- 背中側にマジックテープ (引っかかる方)

表紙



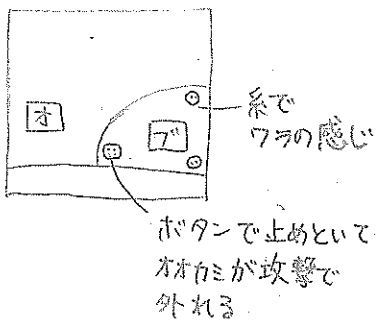
オオカミ
マジックテープ
ブタ
マジックテープ

1ページ

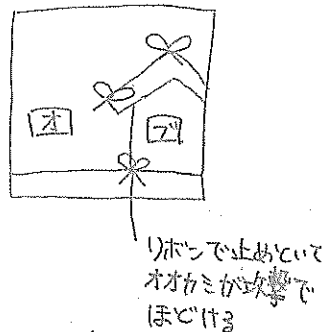


大きい背景は
色の違うフェルト。
細かいのは刺しゅう。

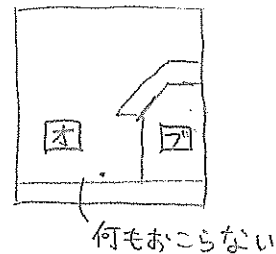
2



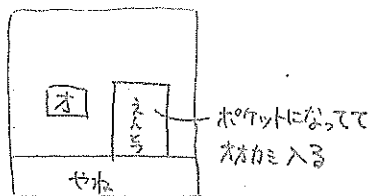
3



4



5



6

